

人口増加のまち明石市、IT企業が集まる神山町

富士見町議会は8月23日、24日の両日、兵庫県明石市と、徳島県神山町への行政視察を行いました。明石市は兵庫県内で唯一、人口が増加しているまちです。神山町は都会のIT関連企業や若者が集まってくるまちです。現在16社が本社やサテライトオフィスを置いています。その秘密を探りました。

【明石市への行政視察】

・視察のテーマ 「子どもを産み、育てやすいまち」
・説明者 福祉局こども育成室、教育委員会学校教育課

明石市は、平成31年度までに人口30万人、1年間の出生数3000人の目標を掲げ、「子どもを核としたまちづくり」をスローガンに、「子どもを安心して産み、育てられるまちづくり」に力を入れた施策に取り組んでいます。

1. 第2子以降の保育料の無料化

関西圏では初めて実施しました。年齢制限、所得制限はなし。ただし、延長保育料、給食費、教材費、被服代、文房具代は除外しました。その結果、入所園児7721人の56%に当たる4323人が対象となり、今年度予算では7億7000万円の歳入減を見込んでいます。しかし、4年連続で人口が増加しました。近隣市町村から、子育て世代の転入が増加。保育士確保にも力を入れ、保育士の家賃補助、資格取得のための受講料補助も行っています。

2. 小学校1年生の30人以下学級編成

兵庫県では小学4年生まで35人学級（国は40人学級）だが、就学前との環境の変化（小1プロブレム）の解消を図るため、小1の30人以下学級の編成を実施。市費で臨時講師を配置しました。

【神山町への行政視察】

・視察のテーマ 「移住交流推進のまちづくりと神山プロジェクト」
・説明者 高橋成文商工観光係長、NPO法人グリーンバレー理事長の大南信也さん

神山町は、昭和30年に5村が合併して発足した当時、人口は2万1000人でしたが、現在は5500人。高齢化率は46%に達する過疎地です。だが、近年、町内全域に整備された高速インターネット回線と自然豊かな環境に魅せられた株式会社Sansanが、初のサテライトオフィスを開設。その後、企業やデザイナー、お店を開く人、起業する人、農業を営む人など、さまざまな人が移住しました。平成27年度までに118世帯、194人が移住。IT、映像、デザインなどの企業16社が本社やサテライトオフィスを開設しました。

移住交流を推進するに当たり、町は「移住交流支援センター」を開

設しましたが、以後、予算付けはなく、NPO法人グリーンバ

3. 離婚後の子どもも養育支援
全国初の取り組みです。離婚届を提出した一人親の子どもに対し、職員（社会福祉士、弁護士ら）が共同で支援しています。

4. 社会福祉士、臨床心理士、弁護士を専門職として採用
5. 児童養護施設を新設

○まとめ
富士見町は第3子以降の保育料が無料で、対象は入所児童の3分の1とのこと。明石市のような思い切った施策があつてこそ、人口増につながる事ができると感じました。明石市は人口が平成26年度からV字回復し、市民税、固定資産税の上昇により、地価も上昇。保育料の税収減はあつても全体では税収がアップし、財政健全化につながっています。「安心して子育てができるまちづくり」の重要性を改めて感じました。



明石市の職員(左)から説明を受ける富士見町議会議員

レーが運営しています。

町は、ビストロ、カフェ、パン店、ピザ店、靴店、惣菜店、ゲストハウスなどを誘致し、他に類を見ない中産間における商店街モデルが誕生しました。地域内で経済循環が起こり、新たな人の流れをつくっています。

○まとめ

なぜ、IT企業は神山町を選んだのか。まず大事なのはインターネット環境。本社や顧客とスムーズに情報が共有できる環境は必須です。その上で、民間主導で事業が進められ、行政がフォローするという形。そのバランスが機能していました。さらに、多様性の尊重。新しい発想に寛容であること。移住者は無理強いされず、ものごとが展開できる。そこに過疎地の閉鎖性はない。地方の可能性が広がっていると感じました。

議会全員協議会での町関係協議事項【7月～9月】

※()内は説明者

◆7月19日

- ①森のオフィス入居から撤退までの経緯(株式会社バガシステム3氏)
- ②町総合防災訓練の概要(伊藤総務課長)
- ③多目的交流広場「ゆめの森(仮称)」整備工事費の予算不足(脇坂教育長、平出子ども課長)
- ④動き始めた「カゴメ野菜生活ファーム富士見」の概要(和田産業課長)
- ⑤全国のコンビニ端末で各種証明書を発行するサービスの概要(住民福祉課長)
- ⑥今年度一般会計予算の専決処分(金井財務課長)
- ⑦平成27年度決算書付属資料「基金」の表内数値の一部訂正(小池会計室長)

◆8月21日

- ①地方財政状況調査の概要(金井財務課長)

- ②国保料の過誤納に伴う追徴と還付(上原住民福祉課長)
- ③9月定例会提出の議題の概要(伊藤総務課長)

◆9月8日

- ①多目的交流広場「ゆめの森(仮称)」整備事業の予算不足問題(脇坂教育長、平出子ども課長)
- ②9月定例会に提出する議案の概要(伊藤総務課) 議案の概要(総務課)

◆9月21日

- ①9月定例会最終日の追加議案、人事案件「副町長の選任」の詳細説明(名取町長)
- ②地方創生加速化交付金事業について有識者会議による効果検証の報告(伊藤総務課長)
- ③普通交付税の確定(金井財務課長)
- ④一般介護予防事業「おたっしや広場」の開設(上原住民福祉課長)